

南国・那覇空港

飛行機に乗るだけで何故かリッチな気分になってくる。ひと昔前までは飛行機を利用する人は、特別な人かお金持ちの人だけだと思われていた。しかし今では空港の数も増え航空機の発展に伴い、日常の交通機関として多くの人が気軽に利用できるようになった。特に長距離から離島の移動には無くてはならない交通手段になっている。

更には1ドル360円の時代から急速に円高が進み、現在は80円の時代になっている。こうした社会状況の変化もあり、航空機を利用した海外旅行は堰を切ったようにブームとなって行った。旅行ブームは国内にも定着し、沖縄は独特の魅力ある観光地として多くの人の心を掴んだようだ。



神戸空港から那覇空港にはスカイマークの昼の便で1時間55分のフライトであった。空港ロビーに着いて最初に感じたことは、ここは日本ではない南国の外国に来たように思えた。まるでハワイにオーバーラップしてくるような錯覚を覚えた。「めんそーれ!」「アローハ!」

那覇空港はもともと旧日本海軍が1933(昭和8)年に建設したものであり、その後はアメリカ軍が管理したのち日本に返還されて今日に至っている。この空港を利用しているのは民間航空便の他、航空、海上、陸上の各自衛隊から沖縄県警航空隊、海上保安庁の航空基地も空港内に置かれている。これらすべてが国民を守り平和利用であってもらいたいと祈る。 撮影 2011年春

